

令和5年 7月 27日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員

種目 英語

代表者 倉橋小 学校

氏名 黒小 朋子

呉市教科用図書（小学校・義務教育学校（前期課程））調査・研究

報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【英語】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	①単元の目標の示し方
方 法	○目標の示し方と具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【目標の示し方】</p> <p>○ 各単元の冒頭に、「Our Goal」として学習目標を提示している。</p> <p>【人物を紹介する単元における具体例】</p> <p>○ 第5学年 Unit 8: Who is your hero?</p> <p>Our Goal あこがれの人について紹介し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あこがれの人について友達に紹介しよう。 ・おたがいのことをよく知るために、あこがれの人について紹介し合おう。 ・日本のヒーローを知るために、その人の魅力などについて考えよう。
開隆堂	<p>【目標の示し方】</p> <p>○ 各単元の冒頭に、「GOAL」として学習目標を提示している。</p> <p>【人物を紹介する単元における具体例】</p> <p>○ 第5学年 Lesson 8: My Hero</p> <p>GOAL 他への人の得意なことやできることなどを発表したり、書いたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得意なことの言い方を知ろう。 ・自分や他の人の得意なことを聞き取ったり、伝えたりしよう。 ・人柄を表す言い方を知り、他の人をわかりやすくしようかしよう。 ・自分のヒーローを発表し、クラスみんなの「図かん」を作ろう。
三省堂	<p>【目標の示し方】</p> <p>○ 年間3回の大きな言語活動の「Goal」を示すとともに、各単元の冒頭に、「Goal」として単元における学習目標を提示している。</p> <p>【人物を紹介する単元における具体例】</p> <p>○ 第5学年 Lesson 3: He is my brother.</p> <p>Goal 友だちや家族を紹介し合おう。</p>
教出	<p>【目標の示し方】</p> <p>○ 各単元の冒頭に、「Goal」として学習目標を提示している。</p> <p>【人物を紹介する単元における具体例】</p> <p>○ 第5学年 Lesson 9: My Hero, My Dream Friend</p> <p>Goal あこがれの人や、友達になってみたい人をしようかしよう</p>
光村	<p>【目標の示し方】</p> <p>○ 各単元の冒頭に、「Goal」として学習目標を提示している。</p> <p>【人物を紹介する単元における具体例】</p> <p>○ 第5学年 Unit 5: My hero is my brother.</p> <p>Goal 自分の興味・関心を伝えるため、あこがれの人を紹介することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Hop! 家族や職業、性格などの言い方を知ろう。 ・Step 1 人の職業などを伝えよう。 ・Step 2 人の性格などを伝えよう。 ・Jump! 紹介文を読んだり、書いて発表したりしよう。

啓林館	<p>【目標の示し方】</p> <p>○ 各単元の冒頭に、「GOAL」として学習目標を提示している。</p> <p>【人物を紹介する単元における具体例】</p> <p>○ 第6学年 Unit 5: This is my hero.</p> <p>GOAL あこがれの人について伝えることができるようになるろう。</p> <ul style="list-style-type: none">・ Step 1 身近な人や好きな人物のとくちょうを言ってみよう。・ Step 2 好きな人物について、その人がしたことを言ってみよう。・ Step 3 あこがれの人について伝えよう。
-----	--

【英語】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための工夫
方 法	○文及び文構造に繰り返し触れる機会の設定及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元名 (want to)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第5学年 <ul style="list-style-type: none"> ・ Unit 7: Welcome to Japan! ○ 第6学年 <ul style="list-style-type: none"> ・ Unit 4: Let's see the world. ・ Unit 8: My Future, My Dream <p>【具体例 (第6学年)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 8: My Future, My Dream <p>Let's Read 将来したいことについて伝える紹介文を読む活動を設定している。</p> <p>I like science. I <u>want to</u> join the science club. I <u>want to</u> study science. I <u>want to</u> be a vet. I <u>want to</u> help animals.</p>
開隆堂	<p>【文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元名 (want to)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第5学年 <ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson 3: What do you have on Mondays? ・ Lesson 6: What would you like? ・ Lesson 8: My Hero ○ 第6学年 <ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson 5: Where do you want to go? ・ Lesson 7: My Dream ・ Lesson 8: My Junior High School Life <p>【具体例 (第6学年)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 5: Where do you want to go? <p>Activity 3 グループで、互いの行きたい国について「行きたい国クイズ」に取り組む活動を設定している。</p> <p>Where do you <u>want to</u> go? Please guess. I <u>want to</u> eat ice cream. I <u>want to</u> buy a beautiful bag. You can see the ocean. Oh, you <u>want to</u> go to Turkey.</p>
三省堂	<p>【文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元名 (want to)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第5学年 <ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson 7: I want to go to Kenya.

	<p>○ 第6学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson 1: We are from India. ・ Lesson 6: I want to be a singer. ・ Lesson 7: I want to join the brass band. <p>【具体例 (第6学年)】</p> <p>○ Lesson 7: I want to join the brass band.</p> <p>Let's Listen & Read</p> <p>中学校訪問の感想について書かれた英文を読む音声を聞きながら、その英文を目で追う活動を設定している。</p> <p>I <u>want to</u> enjoy junior high school.</p> <p>I like English.</p> <p>I <u>want to</u> study English.</p> <p>I <u>want to</u> go to Canada.</p>
教出	<p>【文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元名 (want to)】</p> <p>○ 第5学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson 6: Where do you want to go? <p>○ 第6学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson 5: Dream World Tour ・ Lesson 7: What do you want to be? ・ Lesson 8: Junior High School Life <p>【具体例 (第6学年)】</p> <p>○ Lesson 7: What do you want to be?</p> <p>Activity 2</p> <p>就きたい職業について尋ね合い、分かったことをメモする活動を設定している。</p> <p>What do you <u>want to</u> be?</p> <p>I <u>want to</u> be a scientist.</p> <p>Why?</p> <p>I like science classes.</p> <p>Good luck!</p>
光村	<p>【文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元名 (want to)】</p> <p>○ 第6学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Unit 6: I want to go to Italy. ・ Unit 7: My Dream <p>【具体例 (第6学年)】</p> <p>○ Unit 7: My Dream</p> <p>Let's try.</p> <p>将来の夢を尋ね合う活動を設定している。</p> <p>What do you <u>want to</u> be?</p> <p>I <u>want to</u> be a doctor.</p> <p>Why?</p> <p>I <u>want to</u> help people.</p> <p>Good luck!</p>
啓林館	<p>【文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元名 (want to)】</p> <p>○ 第5学年</p>

・ Unit 8: Let's go to Singapore.

○ 第6学年

・ Unit 7: I want to be a fashion designer.

・ Unit 8: I want to join the brass band.

【具体例 (第6学年)】

○ Unit 7: I want to be a fashion designer.

Activity

将来の夢について、理由も加えて発表する活動を設定している。

I want to be a famous *manga* writer!

Good luck!

You can do it!

【英語】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	③興味・関心を高めるための工夫
方 法	○単元の導入の工夫

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【学校生活（教科）が取り上げられた単元名（第5学年）】 Unit 1: Hello, friends!</p> <p>【導入の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールや、学習指導要領に示された目標に沿った3つの学習のめあてとともに、自己紹介や給食、図書室での会話場面等のイラストや写真を掲載し、児童の興味・関心を高めている。 ○ 二次元コードを活用し、単元終末の言語活動のモデル動画、アニメーションや音声を視聴して場面の順序を考える等の活動、自己紹介動画を視聴して質問に答える活動、My Picture Dictionary、歌、チャンツを設定している。
開隆堂	<p>【学校生活（教科）が取り上げられた単元名（第5学年）】 Lesson 3: What do you have on Mondays?</p> <p>【導入の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールや、単元の学習活動に沿った4つの学習のめあてとともに、海外の友だちとビデオ通話をしている場面等のイラストや写真を掲載し、児童の興味・関心を高めている。 ○ 二次元コードを活用し、学校生活等について紹介するアニメーションを視聴する活動、時間割について聞く活動、歌、チャンツ、ゲーム、アルファベットに関する学習、Word Book を設定している。
三省堂	<p>【学校生活（教科）が取り上げられた単元名（第5学年）】 Lesson 2: I play soccer on Tuesdays.</p> <p>【導入の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールとともに、登校時の校内や校庭での様子のイラストに英語表現を添えて掲載し、児童の興味・関心を高めている。 ○ 二次元コードを活用し、イラストを見ながら校内や校庭で行われていることについて聞く活動、チャンツ、単語ゲーム、Small Talk、会話の続け方についての資料を設定している。
教出	<p>【学校生活（教科）が取り上げられた単元名（第5学年）】 Lesson 3: I have P.E. on Monday.</p> <p>【導入の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールとともに、国旗や各教科のイラスト、海外の授業風景等の写真を掲載し、児童の興味・関心を高めている。 ○ 二次元コードを活用し、海外の子供たちの学校生活に関する映像を視聴する活動やリズムに合わせた口慣らしを設定している。
光村	<p>【学校生活（教科）が取り上げられた単元名（第5学年）】 Unit 3: What subjects do you like?</p> <p>【導入の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールや、単元の学習活動に沿った

	<p>4つの学習のめあてとともに、海外の小学生とオンラインで話している様子や国旗・教科等のイラストや写真を掲載し、児童の興味・関心を高めている。</p> <p>○ 二次元コードを活用し、Small Talk、教科等について話をする動画やアニメーションを視聴する活動、Picture Dictionaryを見て聞こえてきたものを指さす活動、歌を設定している。</p>
啓林館	<p>【学校生活（教科）が取り上げられた単元名（第5学年）】</p> <p>Unit 1: I have math on Monday.</p> <p>【導入の工夫】</p> <p>○ 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールや、単元の学習活動に沿った3つの学習のめあてとともに、校内や校庭で色々な授業が行われている場面等のイラストを掲載し、児童の興味・関心を高めている。</p> <p>○ 二次元コードを活用し、イラストを見ながら小学校で行われている授業について聞く活動、時間割や好きな教科に関するアニメーションを視聴する活動を設定している。</p>

【英語】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	④単元等における振り返りの工夫
方 法	○単元など内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【単元など内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定】</p> <p>○ 単元の「Your Turn」「Enjoy Communication」「Over the Horizon」において、振り返りを行う。また、年間3回の「Check Your Steps」を設定し、その活動の振り返りを行う。</p> <p>【経験したことを伝える単元における具体例（第6学年）】</p> <p>○ Unit 3: My Weekend</p> <p>単元の「Your Turn」「Enjoy Communication」「Over the Horizon」の学習において、振り返りを行う。</p> <p><Your Turn の振り返り></p> <ul style="list-style-type: none"> ・週末にしたことを友達と伝え合えたかな。 <p><Enjoy Communication の振り返り></p> <ul style="list-style-type: none"> ・週末にしたことを伝え合って、おたがいの生活をよく知ることができたかな。 ・週末にしたことについて、内容を整理して伝えようとしたかな。 <p><Over the Horizon の振り返り></p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の人の生活を知るために、休みの日にしていることなどについて考えたかな。 <p>○ Check Your Steps 1 「発信！わたしのニュースあれこれ」</p> <p>自分が行った発表等について、振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の発表の振り返りや、友達の発表でよかったところを書こう。
開隆堂	<p>【単元など内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定】</p> <p>○ 学習した単元ごとに振り返りを行うとともに、年間3回の「Let's Check」を設定し、これまで学習したことについて振り返りを行う。</p> <p>【経験したことを伝える単元における具体例（第6学年）】</p> <p>○ Lesson 4: My Summer Vacation</p> <p>その単元で学習したことについて、巻末の「CAN-DO チェック」の4つの視点で振り返りを行うとともに、感想等を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞く（わかる）…夏休みの思い出についての話を聞いて、おおよその内容がわかった。 ・話す（わかる）…夏休みの思い出について、したことや感想などをしようかいすることができた。 ・話す（使える）…夏休みの思い出について、工夫してくわしくしようかいすることができた。 ・がんばったこと、次のレッスンでがんばりたいこと <p>○ Let's Check② Interview: 先生と話をしよう。</p> <p>これまで学習したことを振り返るとともに、先生とのやり取りについて、4つの視点で振り返りを行い、感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習してきたことを振り返りましょう。そして、どのようなことを伝えたり、たずねたりしたいかを考えましょう。

	<ol style="list-style-type: none"> 1 自分のことをよく知ってもらうために、自分から進んで話すことができた。 2 先生のことをよく知るために、自分から進んで質問をすることができた。 3 自分のことを伝えるために、先生の質問に答えることができた。 4 相手の話を聞いて感想を伝えたり、質問したりして、相手意識をもって話を続けることができた。 <p>・話してわかったこと、これから話してみたいことなど</p>
三省堂	<p>【単元など内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定】</p> <p>○ 学習した単元ごとに振り返りを行う。また、年間3回の大きな言語活動を設定し、その振り返りを行うとともに、それまでの単元で学習したことについて振り返りを行う。</p> <p>【経験したことを伝える単元における具体例（第6学年）】</p> <p>○ Lesson 3: I went to the beach. その単元で学習したことについて振り返りを行うとともに、工夫したこと等を書く。</p> <p><ふりかえり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みをどんなふうに過ごしたかを、友だちと伝え合うことができた。 ・このレッスンで、くふうできたことはどんなことですか。友だちがしていたことで、まねしたいことはありましたか。 <p>○ JUMP 2: My best memory is the school trip. 自分が行ったスピーチについて振り返るとともに、それまで学習したことについて振り返りを行う。</p> <p><ふりかえり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Goalは達成できましたか。 ・HOP、STEP、JUMPを通して、がんばったことはなんですか。
教出	<p>【単元など内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定】</p> <p>○ 学習した単元ごとに振り返りを行う。</p> <p>【経験したことを伝える単元における具体例（第6学年）】</p> <p>○ Lesson 4: My Summer Vacation その単元で学習したことについて、4つの視点で振り返りを行う。</p> <p><Lesson 4 をふりかえろう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに行った場所や食べたものの表現を、聞いたり言ったりすることができた。 ・夏休みにしたことや感想を伝えるための表し方を知り、聞いたり言ったりすることができた。 ・英語の語順を意識しながら、絵日記をつくり、夏休みにしたことを伝えることができた。 ・読み手に分かりやすい絵日記になるようにくふうしたり、その内容の伝え方をくふうしたりした。
光村	<p>【単元など内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定】</p> <p>○ 学習した単元ごとに振り返りを行う。また、3つの「まとめ」の言語活動を設定し、その振り返りを行うとともに、それまでの単元で学習したことについて振り返る。</p> <p>【経験したことを伝える単元における具体例（第6学年）】</p>

	<p>○ Unit 4: My Summer Vacation その単元で学習したことについて、3つの視点で振り返りを行うとともに、工夫したこと等を書く。 <ふりかえろう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブログから、夏休みの思い出を読み取ることができた。 ・夏休みの思い出を伝える絵日記を書くことができた。 ・夏休みの思い出を発表することができた。 ・くふうしたことや次に生かしたいこと <p>○ まとめ 世界の友達2 / You can do it! 2 各活動について振り返るとともに、それまでの単元で学習したことについて振り返る。 <ふりかえろう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の友達のインタビューから、したことやしたいことを聞き取ることができた。 ・さいころを使って、英語のトーク番組にちょうせんすることができた。 ・世界のことについて、どんなことが言えるようになったかな。
啓林館	<p>【単元など内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定】</p> <p>○ 単元の Step ごとに振り返りを行うとともに、単元末に単元全体の振り返りを行う。</p> <p>【経験したことを伝える単元における具体例（第6学年）】</p> <p>○ Unit 4: I went to the zoo. Step ごとの達成度を振り返るとともに、単元末にその単元でできるようになったこと等について、4つの視点で振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Step1~3 できたかな <p><Look Back></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 できるようになったことにチェックマークを書きましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分がしたことを言うことができる。 ・したことについての感想を言うことができる。 ・⇒GOAL 自分の体験を伝えることができる。 2 Unit4 で学習した英語を、実際のどんな場面で使いたいか考えてみましょう。

【英語】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑤単元の構成・配列の工夫
方 法	○総ページ数、総単元数、総言語活動数、領域別言語活動数

発行者	調査・研究内容								
東書	領域別言語活動数 (4技能5領域の活動を示すマークの数)								
	学年	総ページ数	総単元数	総言語活動数	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
	5	106	8	184	51	13	68	4	48
	6	106	8	219	70	42	51	8	48
開隆堂	領域別言語活動数 (4技能5領域の活動を示すマークの数)								
	学年	総ページ数	総単元数	総言語活動数	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
	5	138	8	180	53	23	71	9	24
	6	138	8	179	52	24	72	7	24
三省堂	領域別言語活動数 (4技能5領域の活動を示すマークの数)								
	学年	総ページ数	総単元数	総言語活動数	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
	5	122	7	143	32	25	47	19	20
	6	122	7	143	32	25	44	21	21

教出	領域別言語活動数 (4技能5領域の活動を示すマークの数)								
	学年	総ページ数	総単元数	総言語活動数	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
5	140	9	72	28	6	21	10	7	
6	140	8	72	19	16	14	7	16	

光村	領域別言語活動数 (4技能5領域の活動を示すマークの数)								
	学年	総ページ数	総単元数	総言語活動数	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
5	153	8	147	52	18	50	14	13	
6	145	8	156	51	20	45	20	20	

啓林館	領域別言語活動数 (4技能5領域の活動を示すマークの数)								
	学年	総ページ数	総単元数	総言語活動数	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
5	152	8	135	80	8	30	12	5	
6	152	8	153	79	9	21	21	23	

【英語】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑥単元における言語活動の構成・配列
方 法	○単元における4技能5領域に関連した言語活動の構成・配列

発行者	調査・研究内容
東書	<p>行ってみたい国や地域が取り上げられた単元における具体例は次のとおり。</p> <p>○ 第6学年 Unit 4: Let's see the world.</p> <p>【言語活動のマーク数】 聞くこと (8) 読むこと (4) 話すこと[やり取り] (7) 話すこと[発表] (0) 書くこと (7)</p> <p>【言語活動の構成・配列】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Listen and Think 聞くこと ・ Small Talk 話すこと[やり取り] ・ Sounds and Letters 聞くこと、書くこと ・ Let's Read and Write 読むこと、書くこと ・ Let's Listen 聞くこと ・ Let's Try 話すこと[やり取り] ・ Let's Read and Write 読むこと、書くこと ・ Small Talk 話すこと[やり取り] ・ Sounds and Letters 聞くこと、書くこと ・ Enjoy Communication Step 1 聞くこと、読むこと Step 2 話すこと[やり取り]、書くこと Your Goal 話すこと[やり取り] ・ Small Talk 話すこと[やり取り] ・ Sounds and Letters 聞くこと、書くこと ・ Over the Horizon 物語探検 聞くこと、読むこと ・ Small Talk 話すこと[やり取り] ・ Sounds and Letters 聞くこと、書くこと
開隆堂	<p>行ってみたい国や地域が取り上げられた単元における具体例は次のとおり。</p> <p>○ 第6学年 Lesson 5: Where do you want to go?</p> <p>【言語活動のマーク数】 聞くこと (6) 読むこと (3) 話すこと[やり取り] (10) 話すこと[発表] (0) 書くこと (3)</p> <p>【言語活動の構成・配列】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Listen 1 聞くこと ・ Let's Try 1 話すこと[やり取り] ・ Let's Listen 2 聞くこと ・ Let's Try 2 話すこと[やり取り] ・ Small Talk 話すこと[やり取り] ・ Activity 1 話すこと[やり取り] ・ Let's Listen and Read 1 聞くこと、読むこと

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Write 1 書くこと ・ Let's Listen 3 聞くこと ・ Let's Try 3 話すこと[やり取り] ・ Small Talk 話すこと[やり取り] ・ Let's Listen 4 聞くこと ・ Activity 2 話すこと[やり取り] ・ Let's Listen and Read 2 聞くこと、読むこと ・ Let's Write 2 書くこと ・ Let's Read 1 読むこと ・ Let's Try 4 話すこと[やり取り] ・ Small Talk 話すこと[やり取り] ・ Activity 3 話すこと[やり取り] ・ Let's Write 3 書くこと
三省堂	<p>行ってみたい国や地域が取り上げられた単元における具体例は次のとおり。</p> <p>○ 第5学年 Lesson 7: I want to go to Kenya.</p> <p>【言語活動のマーク数】 聞くこと (4) 読むこと (3) 話すこと[やり取り] (5) 話すこと[発表] (2) 書くこと (3)</p> <p>【言語活動の構成・配列】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Small Talk 話すこと[やり取り] ・ Let's Listen 聞くこと ・ Let's Speak 話すこと[発表] ・ Let's Play 話すこと[やり取り] ・ Let's Talk 話すこと[やり取り] ・ Let's Read & Write 読むこと、書くこと ・ Let's Listen 聞くこと ・ Let's Speak 話すこと[発表] ・ Let's Play 話すこと[やり取り] ・ Let's Talk 話すこと[やり取り] ・ Let's Read & Write 読むこと、書くこと ・ Let's Listen & Read 聞くこと、読むこと ・ Let's Listen 聞くこと ・ Let's Try 書くこと
教出	<p>行ってみたい国や地域が取り上げられた単元における具体例は次のとおり。</p> <p>○ 第5学年 Lesson 6: Where do you want to go?</p> <p>【言語活動のマーク数】 聞くこと (3) 読むこと (1) 話すこと[やり取り] (2) 話すこと[発表] (2) 書くこと (1)</p> <p>【言語活動の構成・配列】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Listen 1 聞くこと ・ Let's Listen 2 聞くこと ・ Let's Listen 3 聞くこと ・ Activity 1 話すこと[やり取り] ・ Activity 2 話すこと[やり取り]

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Write 読むこと、書くこと ・ Final Activity 話すこと[発表]、話すこと[発表]
光村	<p>行ってみたい国や地域が取り上げられた単元における具体例は次のとおり。</p> <p>○ 第6学年 Unit 6: I want to go to Italy.</p> <p>【言語活動のマーク数】 聞くこと (7) 読むこと (2) 話すこと[やり取り] (6) 話すこと[発表] (3) 書くこと (2)</p> <p>【言語活動の構成・配列】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Story 聞くこと ・ Small Talk 話すこと[やり取り] ・ Let's listen and point. 聞くこと ・ Let's watch. 聞くこと ・ Let's listen. 聞くこと ・ Small Talk 話すこと[やり取り] ・ Let's try. 話すこと[発表] ・ Plus One 話すこと[発表] ・ Let's write and read. 書くこと、読むこと ・ Let's watch. 聞くこと ・ Let's listen. 聞くこと ・ Small Talk 話すこと[やり取り] ・ Let's try. 話すこと[やり取り] ・ Plus One 話すこと[やり取り] ・ Let's write and read. 書くこと、読むこと ・ Let's listen. 聞くこと ・ Let's speak. 話すこと[発表]、話すこと[やり取り]
啓林館	<p>行ってみたい国や地域が取り上げられた単元における具体例は次のとおり。</p> <p>○ 第5学年 Unit 8: Let's go to Singapore.</p> <p>【言語活動のマーク数】 聞くこと (10) 読むこと (1) 話すこと[やり取り] (4) 話すこと[発表] (1) 書くこと (1)</p> <p>【言語活動の構成・配列】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Introduction 聞くこと ・ Watch the Scene 聞くこと ・ Listen and Do 1 聞くこと ・ Listen and Do 2 聞くこと ・ Chant 聞くこと ・ セクション名なし 話すこと[やり取り] ・ Activity 話すこと[やり取り]、書くこと ・ Words and Phrases 聞くこと ・ Listen and Do 聞くこと ・ Chant 聞くこと ・ セクション名なし 話すこと[発表] ・ Activity 話すこと[やり取り] ・ Watch and Do 聞くこと、読むこと

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">• Friends around the World 聞くこと• Activity 話すこと[やり取り] |
|--|---|

【英語】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑦学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト、写真等の活用
方 法	○キャラクターやマーク、写真やデジタル教材等の活用

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【キャラクターやマーク等の活用】</p> <p>○ 第5学年の巻頭で6人の登場人物を紹介し、第6学年では新たに1人の転入生を加え、2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークやキャラクターを設定し、紙面に明示している。</p> <p>【写真やデジタル教材等の活用（第5学年 誕生日が取り上げられた単元の具体例）】</p> <p>○ Unit 2: Happy birthday!</p> <p>単元の学習に関連した音声や動画、アニメーション等の視聴や、ワークシートやデジタルディクショナリー等の使用がWeb上でできるコンテンツや、日本や世界について調べることができる外部サイトにつながる二次元コードを、8箇所を示している。また、学習に関連した日本や世界各国の写真を、単元終末ページを中心に示している。</p>
開隆堂	<p>【キャラクターやマーク等の活用】</p> <p>○ 巻頭に「主な登場人物」として9人、「Story Timeの登場人物」として2人の人物を紹介している。「主な登場人物」の内、外国語指導助手が第6学年で入れ替わるが、2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、5つの領域に関連した言語活動等の種類を示すマークや、ガイドキャラクターを3つ設定し、紙面に明示している。</p> <p>【写真やデジタル教材等の活用（第5学年 誕生日が取り上げられた単元の具体例）】</p> <p>○ Lesson 2: When is your special day?</p> <p>単元の学習に関連した音声や動画、アニメーション等の視聴や、デジタルワードブックや活動における資料等の使用がWeb上でできるコンテンツにつながる二次元コードを、5箇所を示している。また、学習に関連した日本や世界各国の写真を、単元を通して示している。</p>
三省堂	<p>【キャラクターやマーク等の活用】</p> <p>○ 巻頭に「主な登場人物」として、8人の人物を紹介しており、2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークや児童の理解をサポートするナビゲーションキャラクターを3つ設定し、紙面に明示している。</p> <p>【写真やデジタル教材等の活用（第5学年 誕生日が取り上げられた単元の具体例）】</p> <p>○ Lesson1: My name is Jun.</p> <p>単元の学習に関連した音声や動画、アニメーション等の視聴や、ワークシートやふりかえりシート等をダウンロードできる二次元コードを、4箇所を示している。また、2つの活動において学習に関連した写真を示している。</p>
教出	<p>【キャラクターやマーク等の活用】</p> <p>○ 第5学年の最初の単元で8人の人物が登場し、第6学年では新たに1人の転入生を加え、2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークやキャラクターを設定し、紙面に明示している。</p>

	<p>【写真やデジタル教材等の活用（第5学年 誕生日が取り上げられた単元の具体例）】</p> <p>○ Lesson 2: When is your birthday? 音声や動画等が Web 上で視聴できるコンテンツにつながる二次元コードを、活動ごと7箇所を示している。また、学習に関連した日本や世界各国の写真を、単元導入の見開きページに示している。</p>
<p>光村</p>	<p>【キャラクターやマーク等の活用】</p> <p>○ 巻頭に「主な登場人物」として、第5学年で7人の人物と学習を助けるキャラクターを紹介している。第6学年では転入生が1人加わるが、2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークを設定し、紙面に明示している。</p> <p>【写真やデジタル教材等の活用（第5学年 誕生日が取り上げられた単元の具体例）】</p> <p>○ Unit 2: When is your birthday? 単元の学習に関連した音声や動画、アニメーション等が視聴できるコンテンツにつながる二次元コードを、5箇所に示している。また、学習に関連した日本や世界各国の写真を、単元終末ページに示している。</p>
<p>啓林館</p>	<p>【キャラクターやマーク等の活用】</p> <p>○ 巻頭に「登場人物」として、第5学年で8人、第6学年で7人の人物を紹介し、2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークとキャラクターを設定し、紙面に明示している。</p> <p>【写真やデジタル教材等の活用（第5学年 誕生日が取り上げられた単元の具体例）】</p> <p>○ Unit 2: My birthday is May 25th. 学習に関連した音声や動画、アニメーションなどの視聴や、単語クイズやアクティビティのヒントの使用が Web 上でできる二次元コードを、活動ごと15箇所に示している。また、学習に関連した日本や世界各国の写真を、単元導入ページと終末ページを中心に示している。</p>

【英語】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑧巻末資料、付録等の工夫
方 法	○巻末資料、付録等の内容

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Try it! ○ 巻末絵カード ○ 巻末コミュニケーションカード ○ 別冊 (My Picture Dictionary) <p>【第6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Going to Junior High School ○ A Message from Lucas ○ 巻末絵カード ○ 巻末コミュニケーションカード ○ 別冊 (My Picture Dictionary)
開隆堂	<p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Sounds and Letters ○ 5年で学習した表現のまとめ ○ アルファベット表 ○ ローマ字表 (ヘボン式) ○ Japan Map ○ CAN-DO チェック ○ Sugoroku ○ 巻末カード ○ 別冊 (Word Book) <p>【第6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Sounds and Letters ○ 6年で学習した表現のまとめ ○ アルファベット表 ○ ローマ字表 (ヘボン式) ○ World Map ○ CAN-DO チェック ○ Sugoroku ○ 巻末カード ○ 別冊 (Word Book)
三省堂	<p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 英語でこんなことができた! ○ ローマ字表 (ヘボン式) ○ 巻末カード ○ 別冊 (CROWN Jr. My Dictionary) <p>【第6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 英語でこんなことができた!

	<ul style="list-style-type: none"> ○ ローマ字表 (ヘボン式) ○ 巻末カード ○ 別冊 (CROWN Jr. My Dictionary)
教出	<p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ My Word Bank ○ Let's Enjoy the Music ○ Supermarket Jingle ○ Forest Jingle ○ ローマ字表 (ヘボン式) ○ 活動用シール ○ 絵カード ○ ワークシート ○ アルファベット表 <p>【第6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ My Word Bank ○ Let's Enjoy the Music ○ Food Festival Jingle ○ City Jingle ○ ローマ字表 (ヘボン式) ○ 絵カード ○ ワークシート ○ My book をつくろう ○ アルファベット表
光村	<p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 英語の物語 ○ 単語や文の書き方 ○ Alphabet Time ○ All About Me ○ カード ○ ローマ字の表 (ヘボン式) ○ 家庭での学習に使える二次元コードコンテンツ ○ 別冊 (Picture Dictionary) <p>【第6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 英語の物語 ○ 単語や文の書き方 ○ Alphabet Time ○ 中学校に向けて 英語の学習を続けていこう！ ○ All About Me ○ ローマ字の表 (ヘボン式) ○ 家庭での学習に使える二次元コードコンテンツ ○ 別冊 (Picture Dictionary)
啓林館	<p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Story ○ Word List

- 教科書に出てきた英語の歌
- Can-Do List
- 英語でゲームをしよう!
- 絵カード
- 付録シート (会話を楽しむフレーズ集)

【第6学年】

- Story
- Word List
- Can-Do List
- ヘボン式ローマ字表
- 絵カード
- 付録シート (会話を楽しむフレーズ集)

【英語】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑨児童にとって身近な暮らしに関わる場面設定の工夫
方 法	○主として学校での学習や活動場面が取り上げられた単元

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【主として学校での学習や活動場面が取り上げられた単元（第6学年）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 1: This is me! ○ Unit 2: My Daily Schedule ○ Unit 7: My Best Memory ○ Unit 8: My Future, My Dream
開隆堂	<p>【主として学校での学習や活動場面が取り上げられた単元（第6学年）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 1: This is me. ○ Lesson 3: What time do you get up? ○ Lesson 6: My Best Memory ○ Lesson 8: My Junior High School Life
三省堂	<p>【主として学校での学習や活動場面が取り上げられた単元（第6学年）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 4: It was green. ○ Lesson 5: We had the sports day in October. ○ Lesson 7: I want to join the brass band.
教出	<p>【主として学校での学習や活動場面が取り上げられた単元（第6学年）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 1: Let's be friends. ○ Lesson 6: My Best Memory ○ Lesson 8: Junior High School Life
光村	<p>【主として学校での学習や活動場面が取り上げられた単元（第6学年）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 1: This is me. ○ Unit 2: Welcome to Japan. ○ Unit 3: What time do you get up? ○ Unit 7: My Dream ○ Unit 8: My Best Memory
啓林館	<p>【主として学校での学習や活動場面が取り上げられた単元（第6学年）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 6: My favorite memory is the school trip. ○ Unit 8: I want to join the brass band.

【英語】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑩知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫
方 法	○自分の考えや気持ちなどを伝え合う等の言語活動の設定及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【自分の考えや気持ちなどを伝え合う等の言語活動の設定】</p> <p>○ 単元終末の Enjoy Communication において、習得した知識及び技能を活用する「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動を設定している。また、3回の Check Your Steps において、習得した知識及び技能を活用する「聞くこと」「話すこと」「発表」の活動を設定している。</p> <p>【中学校生活への期待等が取り上げられた単元における具体例（第6学年）】</p> <p>○ Unit 8: My Future, My Dream</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Enjoy Communication 互いの夢を応援するために、将来したいことを伝え合う。 Step 1 文を指で追いながら、2人の会話を聞く。 Step 2 内容を整理しながら「将来カード」を作成し、ペアで伝え合う。 Your Goal 「将来カード」を使って、たくさんの友だちと伝え合う。 会話したことを書く。
開隆堂	<p>【自分の考えや気持ちなどを伝え合う等の言語活動の設定】</p> <p>○ 単元終末の Activity や Let's Write 等において、習得した知識及び技能を活用する「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動を設定している。また、3回の Let's Check において、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「やり取り」「書くこと」の活動を設定している。</p> <p>【中学校生活への期待等が取り上げられた単元における具体例（第6学年）】</p> <p>○ Lesson 8: My Junior High School Life</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Let's Read 1 二人の「About Me」を読む。 ・Let's Try 4 話を整理し、ペアで伝え合う。 ・Activity 3 中学校の先輩や先生、友だちに向けて、中学校でしたいことや頑張りたいことを発表する。 ・Let's Write 3 中学校でしたいことや頑張りたいことを記録に残す。
三省堂	<p>【自分の考えや気持ちなどを伝え合う等の言語活動の設定】</p> <p>○ 単元終末の Step-up において、習得した知識及び技能を活用する「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「やり取り」「書くこと」の活動を設定している。また、3回の大きな言語活動において、「話すこと」「発表」の活動を設定している。</p> <p>【中学校生活への期待等が取り上げられた単元における具体例（第6学年）】</p> <p>○ Lesson 7: I want to join the brass band.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Step-up どんな中学校生活を送りたいかを伝え合う。 Let's Listen & Read 発表を聞きながら、書かれた文字を指で追う。 Let's Listen 中学生になったらしたいことについて、2組の友だちのやり取りを聞く。 Let's Try どのような中学校生活を送りたいかを伝え合う。
教出	<p>【自分の考えや気持ちなどを伝え合う等の言語活動の設定】</p> <p>○ 単元終末の Final Activity において、習得した知識及び技能を活用する「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動等を設定している。</p>

	<p>【中学校生活への期待等が取り上げられた単元における具体例（第6学年）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 8: Junior High School Life <ul style="list-style-type: none"> ・ Final Activity 中学校でしたいことを発表する。 2人が中学校でしたいことを、音声を聞きながら読む。 中学校でしたいことをワークシートに書く。 中学校でしたいことを発表する。 友だちの発表を聞き、分かったことを書く。
光村	<p>【自分の考えや気持ちなどを伝え合う等の言語活動の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元終末の Jump!において、習得した知識及び技能を活用する「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動を設定している。また、3回の「世界の友達」において、「聞くこと」「読むこと」の活動、「You can do it!」において、「話すこと」「書くこと」の活動を設定している。 <p>【中学校生活への期待等が取り上げられた単元における具体例（第6学年）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 7: My Dream <ul style="list-style-type: none"> ・ Jump! 自分の将来について考えるために、「夢宣言」をする。 Let's read. 「夢宣言 (My Dream)」を読み、キーワードを見つけて線を引く。 Let's write and speak. 「夢宣言 (My Dream)」を書き、書いた事柄について、更に詳しい発表をする。
啓林館	<p>【自分の考えや気持ちなどを伝え合う等の言語活動の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元終末の Step 3 において、習得した知識及び技能を活用する「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動を設定している。また、3回の REVIEW において、習得した知識及び技能を活用する「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動を設定している。 <p>【中学校生活への期待等が取り上げられた単元における具体例（第6学年）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 8: I want to join the brass band. <ul style="list-style-type: none"> ・ Step 3 中学校でやってみたいことを手紙に書く。 Watch and Do セリフを聞きながら、書かれた文字を指で追う。映像に合わせてセリフを言う。 Activity 中学校を紹介してくれた人に、中学校でやってみたいことを含めたお礼の動画メッセージを作り、その内容を手紙にも書く。

令和5年 7月 27日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員

種目 特別の教科 道徳

代表者 呉市立安浦小 学校

氏名 奥本 雅幸

呉市教科用図書（小学校・義務教育学校（前期課程））調査・研究
報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【特別の教科 道徳】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	①道徳科の学び方等の示し方
方 法	○オリエンテーションのタイトル、示し方、記載例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(第4学年)</p> <p>【タイトル】「どうとくの学習を始めよう」「なにを学ぶのかな？」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を表す言葉や教材名等を示している。</p> <p>○記載例：「自分のこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しいと思うことは ・いっしょになって、わらっちゃだめだ <p>「どうとくの学習では、さまざまなお話から、心について考え、自分の心をゆたかにしていきます。さあ、どうとくの学習を始めましょう！」</p> <p>【タイトル】「どんな学びをするのかな？」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、「気づく」「考える」「広げる・深める」の3つで学習の流れを示している。また、ページ下には、「こんな学び方もあるよ」として「えんじて考えよう」「問題を見つけて考えよう」を示している。</p> <p>○記載例：『あれっ？ どうしてかな？』気づいたことはどんなことですか。」</p> <p>「お話に出てくる人になりきって、言葉や動きをそうぞうしましょう。」</p> <p>【タイトル】「ちょっと話し合ってみよう！」</p> <p>○示し方：1ページに、ミニ教材を基に、話し合う際の言葉の例等を示している。</p> <p>○記載例：「わたしだったら……。」</p> <p>【タイトル】「デジタルコンテンツで学びを広げよう」</p> <p>○示し方：1ページに、「3つのコンテンツがあるよ」「ほかにもコンテンツがあるよ」として、コンテンツの利用方法等を示している。</p> <p>○記載例：「左のようなコードから、教科書の学びを広げるさまざまなコンテンツをりようすることができます。」</p>
教出	<p>(第4学年)</p> <p>【タイトル】「道徳で学習すること」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、4つの視点ごとに、主題名や教材名等を示している。</p> <p>○記載例：「自分のこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見て見ぬふりはしない ほっとけないよ <p>「今日はどんなことについて考えるのか、たしかめてみよう。」</p> <p>【タイトル】「道徳ではこんな学び方をするよ」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、「考えよう」「深めよう」「つなげよう」「今日の学習を自分でふり返ってみよう。」の4つを示している。「考えよう」の中に、「話し合って考える」「えんじて考える」「書いて考える」の3つを示している。</p>

	<p>○記載例：「教材を読んで、登場人物の気持ちや行動などから、よりよく生きるうえで大切なことについて考えよう。」 「グループやクラスで話し合っ、自分の考えと同じところやちがうところ、友達の意見を聞いて気づいたことなどをもとに、自分の考えを見直してみよう。」</p> <p>【タイトル】「道徳の学習をもっと広げよう」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、「まなびリンクを活用しよう」「タブレットを学習に生かそう」として、二次元コードやタブレットの活用方法等を示している。</p> <p>○記載例：「二次元コードにアクセスすると、学習に役立つじょうほうをウェブサイトで見ることができます。学校のルールを守って利用しましょう。」</p>
光村	<p>(第4学年)</p> <p>【タイトル】「道徳が始まるよ」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を表す言葉等を示している。</p> <p>○記載例：「自分について」 ・正しいと考えたことを、どうどうと行う 「四年生の道徳が、始まるよ。いっしょに考えていこうね。」</p> <p>【タイトル】「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、「こつ1」「こつ2」「こつ3」「やってみよう」と対話を進めるポイント等を示している。</p> <p>○記載例：「話している人が何を言いたいのかを、考えながら聞こう。」</p> <p>【タイトル】「道徳みちあんない」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、1年間に学ぶ教材名やユニットの位置、発問や呼び掛け等をキャラクターとともに示している。</p> <p>○記載例：「②目覚まし時計」 「友だち一人一人を大切にすって、どういうことだろう。」 「1年間の流れを、いっしょにたしかめよう。」</p>
日文	<p>(第4学年)</p> <p>【タイトル】「道徳のとびら」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を表す言葉等を示している。</p> <p>○記載例：「自分」 ・正直な心 ・『道徳』では、よりよく生きるためにたいせつなことについて、みんなで考えるよ。」</p> <p>【タイトル】「道徳の学び方」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、「1気づく」「2考える・深める」「3見つめる・生かす」の3つをイラストや写真等とともに示している。</p> <p>○記載例：「すてきだと思ったことや、気になったことはあるかな。」 「気づいたことを友達と話し合っ、自分の見方を広げ、考えを深めよう。」</p>

	<p>「自分を見つめて、これからの生き方に生かしたいことは何か、考えよう。」</p>
光文	<p>(第4学年)</p> <p>【タイトル】「ゆたかな心」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を表す言葉等を示している。</p> <p>○記載例：「自分のこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しいと思うことを自信をもって <p>「道徳の授業を通して、自分を見つめ直すきっかけをつくることができます。自分で考え、友だちと話し合うことで、当たり前と思っていた見方がかわります。見方がかわると、見える世界がかわってきます。ちょっとすてきな自分に出会う旅に出かけるみたいですね。その旅は、きっと、みなさんの生活をよりよくかえていってくれるでしょう。」</p> <p>【タイトル】「道徳の時間は、こんな時間です」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、学習の流れを「問いを見つけよう」「考えよう」「まとめよう・ふりかえろう」「ひろげよう・つなげよう」の4つで示している。</p> <p>○記載例：「なぜだろう」「どうしてだろう」と思う気持ちを大切にして、教科書や生活の中から、問いを見つけましょう。</p> <p>【タイトル】「いろいろなやり方で考えてみよう」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、考えを整理したり、まとめたりする方法を図やイラスト等とともに示している。</p> <p>○記載例：「じゅんじょ立てて考える（矢印・曲線）」</p> <p>【タイトル】「話し合って考えてみよう」</p> <p>○示し方：1ページに、「こんないいことがあるよ」「こんなときに使おう」「言葉のカード（対話ツール）にはこんなものがあるよ」と示している。</p> <p>○記載例：「思ったことを安心して質問できるよ。」</p> <p>【タイトル】「まとめよう・ふりかえろう」</p> <p>○示し方：1ページに、「ノートを使おう」「『学びの足あと』を使おう」と示している。</p> <p>○記載例：「学習した日づけとお話番号とタイトルを書きましょう。」</p> <p>「授業の後の気持ちを矢印で表しましょう。その理由も書きましょう。」</p>
学研	<p>(第4学年)</p> <p>【タイトル】「つながるわたし 広がるわたし」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、「しょう来のゆめ」「大切なもの」「夢中になっていること」「自分の好きなどころ」の4つについて書く欄や現代的課題マーク等を写真やイラストとともに示している。</p> <p>○記載例：「さまざまなテーマで学び自分を広げよう。」</p> <p>「いのち」</p> <p>【タイトル】「大きな心を育てよう」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を表す言葉と教材名を示している。</p>

○記載例：「わたしのこと」

- ・正しいことは自信を持ってしよう
- クラスたいこう全員リレー

【タイトル】「道徳の学習が始まるよ」

○示し方：見開き2ページの上段に、「自分」「人」「社会」「命や自然」の4つの視点等を示している。また、見開き2ページの下段に、「自分を見つめ深めるポイント」として「①お話をもとに考えよう。」「②話し合い高め合おう。」「③自分を見つめ深めよう。」の3つをイラスト等とともに示している。

○記載例：「心の四つのとびらを開いて自分を見つめる時間です。」

- ・自分のとびら
- 「登場人物になりきって考えてみよう。」
- ・えんじている人を見ながら自分の考えを見つけてもいいね。

【特別の教科 道徳】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②発問の示し方
方 法	○学年、主題名、数、掲載箇所及び発問

発行者	調査・研究内容
東書	<p>教材名「ブランコ乗りとピエロ」 内容項目「B 相互理解、寛容」</p> <p>○学年：第5学年</p> <p>○主題名：「わかり合うために」</p> <p>○数：4</p> <p>○掲載箇所及び発問</p> <p>〈教材文の終わり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わかり合うために大切なことは？ ・ ピエロの心からサムをにくむ気持ちが消えたのはどうしてでしょう。 ・ 相手の意見が自分とちがったとき、あなたはどうしますか。 ・ ピエロの話をうつつむいて聞いていたサムは、どんなことを考えていたでしょう。サムの気持ちについても話し合ってみましょう。
教出	<p>教材名「ブランコ乗りとピエロ」 内容項目「B 相互理解、寛容」</p> <p>○学年：第6学年</p> <p>○主題名：「広い心をもって」</p> <p>○数：6</p> <p>○掲載箇所及び発問</p> <p>〈冒頭の教材名の下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分とはちがう考え方を受け入れることって難しいよね。 <p>〈教材文の終わり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サムの長い演技が終わり、大王アレキスがサーカス小屋から帰ったあと、舞台へ向かうピエロは、どのような気持ちだったでしょう。 ・ ピエロの心から、サムをにくむ気持ちが消えてしまったのは、どうしてでしょう。 ・ どうしてピエロの気持ちが変わったのかな。 ・ これまで、友達と意見が対立したとき、どのように解決してきましたか。ふり返って話し合いましょう。 ・ 自分が正しいと思う意見を相手が受け入れてくれないと感じたとき、どのように考え、行動しようと思いますか。また、それはどうしてですか。
光村	<p>教材名「ブランコ乗りとピエロ」 内容項目「B 相互理解、寛容」</p> <p>○学年：第5学年</p> <p>○主題名：「分かり合うために」</p> <p>○数：8</p> <p>○掲載箇所及び発問</p> <p>〈冒頭の教材名の下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他の人の言動を、許せないと思うとき、君は、どうするかな。 <p>〈教材文の終わり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考えのちがう者どうしが関わり合っくらすためには、どんな心が必要なのだろう。 ・ 約束の時間をこえて演技を続けるサムを見ながら、ピエロは、どんなことを考え

	<p>ていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ピエロのサムに対する気持ちは、どうして変わったのでしょうか。 ・ 団員たちの明るい笑い声に包まれた最終日がむかえられたのは、サムとピエロ、そして団員たちの心が、どのように変わったからでしょう。 ・ 次の「㊟だれもが幸せになれる社会を」を学んだら、146ページの「子どもの権利条約」を読んで、だれもが幸せに生きるために大切なことは何か、さらに考えを深めよう。 ・ サムのすがたを何度も何度も思い出しているときのピエロは、どんな気持ちだったでしょう。グループで、サムを「許す」「許さない」、それぞれの立場に立って、理由を出し合ひましょう。 ・ ピエロが、「許さない」ではなく、「許す」ほうを選んだことについて、グループのみんながそうだなと思える理由は何か、話し合ひましょう。
日文	<p>教材名「ブランコ乗りとピエロ」 内容項目「B 相互理解、寛容」</p> <p>○学年：第6学年</p> <p>○主題名：「広く受け入れる心」</p> <p>○数：3</p> <p>○掲載箇所及び発問 〈冒頭の教材名の下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分と意見や考えが合わない人に対して、どんなことを思いますか。 <p>〈教材文の終わり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ピエロの心の中からサムをにくむ気持ちが消えたのは、どんな考えからだろう。 ・ 広く受け入れる心をもつためには、どんな考えがたいせつかな。
光文	<p>教材名「ブランコ乗りとピエロ」 内容項目「B 相互理解、寛容」</p> <p>○学年：第6学年</p> <p>○主題名：「広い心で」</p> <p>○数：5</p> <p>○掲載箇所及び発問 〈冒頭の教材名の下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「広い心」とは、どのような心のことをいうのだろう。 <p>〈教材文の終わり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ピエロの心の中から、サムをにくむ気持ちが消えたのは、どうしてかな。 ・ サムとピエロの関係は、どのように変わったのだろう。 ・ 「広い心」とは、どんな心だろう。学習したことをまとめよう。 ・ みんなが「広い心」で行動したら、どんなクラスになるか、考えて発表してみよう。
学研	<p>教材名「ブランコ乗りとピエロ」 内容項目「B 相互理解、寛容」</p> <p>○学年：第6学年</p> <p>○主題名：「分かり合う喜び」</p> <p>○数：2</p> <p>○掲載箇所及び発問 〈教材文の終わり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ピエロとサムの関係は、どのように変わったのだろう。また、そのように変えたものは何だろう。 ・ あなたなら自分と考え方のちがう友達とつきあうとき、何を大切にするだろう。

【特別の教科 道徳】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	③問題解決的な学習を取り入れた工夫
方 法	○問題解決的な学習過程の示し方、教材名・内容項目、学習過程

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【問題解決的な学習過程の示し方】 「問題を見つけて考えよう」を設け、「どんな学びをするのかな？」に該当ページを示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。</p> <p>【教材名・内容項目】 (第6学年) 「修学旅行の夜」 A 善悪の判断、自律、自由と責任</p> <p>【学習過程】 ○ 「問題を見つけて考えよう」 「気づく」 ・あなたにとって「自由」とはなんですか。 「考える」 ・修学旅行の夜、人にめいわくをかけないようにおしゃべりすることは、「自由」か「自分勝手」のどちらでしょうか。理由も考えてみましょう。 ・自由と自分勝手のちがいはなんでしょうか。 「広げる・深める」 ・自分をふり返ってみて、自由ではなく自分勝手だったことはないでしょうか。</p>
教出	<p>【問題解決的な学習過程の示し方】 「問題を解決しよう」を設け、目次にマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。</p> <p>【教材名・内容項目】 (第6学年) 「〇〇しながら」 A 節度、節制</p> <p>【学習過程】 ○ 「問題を解決しよう」 「問題を見つける」 ・三つのできごとでは、それぞれ何が問題になっていますか。 「解決方法を考える①」 ・三つのできごとの登場人物の行動について、どのように思いますか。 「解決方法を考える②」 ・三つのできごとを比べると、どのようなちがいが見られますか。共通点、異なる点、問題の重さについて話し合みましょう。 「考えたことを生かす」 ・三つのできごとの問題について考えたことを、今後の生活にどのように生かしていきたいですか。自分の生活態度と比べながら見つめ直しましょう。</p>
光村	<p>【問題解決的な学習過程の示し方】 「考えよう・話し合おう」「つなげよう」において、教材の終わりに、学習過程の例</p>

	<p>を示している。</p> <p>【教材名・内容項目】(第6学年) 「六年生の責任って？」C よりよい学校生活、集団生活の充実</p> <p>【学習過程】 「考えよう・話し合おう」 あなたが「ぼく」のクラスの一員だったら、どうすればよいと思いますか。次のステップに沿って、考えていきましょう。 「何が問題になっているのか、明らかにする。」 ・今、学校は、どのような状態なのか。 「目ざす姿・状態をイメージする。」 ・学校を、どのような状態にしたいのか。 「どうすれば、目ざす姿に近づけるかを考える。(解決策を考え、結果を想像する。)」 ・三人の意見の結果を想像する。 ・目ざす姿に近づくために、どうするか。(解決策) 「考えたことがよりよいものかを検討する。」 ・それぞれが考えたことを出し合い、六年生にも下級生にも望ましい状態にするためには、どうすればよいか、話し合しましょう。 ・六年生の責任を果たすために大切なのは、どんな考えだと思いますか。 「つなげよう」 ・先生や上級生のおかげで、気持ちよく生活できていたなど思うことはあるかな。 よりよい学校を目ざして、自分にどんなことができるか、考えてみよう。</p>
<p>日文</p>	<p>【問題解決的な学習過程の示し方】 「ぐっと深める」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。</p> <p>【教材名・内容項目】(第6学年) 「自分を守る力って？」A 節度、節制</p> <p>【学習過程】 ○ 「ぐっと深める」 ・それぞれの場面で自分を守るためにはどんな力が必要だろう。みんなで考えてみよう。 ①中学生たちにお金を貸してほしいと言われたとき、ヒデキはどんなことを思ったでしょう。 ②こんなことが起こらないために、ヒデキはどんなことを考え、判断し、行動すればよかったのでしょうか。 ③①～④の場面から一つ選んで、どんなことを考え、判断し、行動することがたいせつだったのか、考えてみましょう。 ④それぞれの場面で必要な力はどんな力でしょう。それが自分自身を守ることにつながる理由を考えてみましょう。</p>

<p>光文</p>	<p>【問題解決的な学習過程の示し方】 「かんがえよう」「まとめよう」「ひろげよう」を設け、巻頭及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。</p> <p>【教材名・内容項目】 (第6学年) 「修学旅行の自由行動」 B 相互理解、寛容</p> <p>【学習過程】 「かんがえよう」 ・一回目と二回目の話し合いのちがいは何だろう。 ・「わたし」(黒羽さん)は、どうして、このメンバーなら心の底から修学旅行が楽しめると感じたのだろう。 「まとめよう」 ・話し合いの中でたがいが分かり合うために、大切なことは何かな。 「ひろげよう」 ・考えたことを、話し合いの中で実行してみよう。</p>
<p>学研</p>	<p>【問題解決的な学習過程の示し方】 「深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。</p> <p>【教材名・内容項目】 (第6学年) 「未来への裁判」 C 公正、公平、社会正義</p> <p>【学習過程】 ○ 「深めよう」 「つかもう」 ・ルースは、あらゆる差別をなくすためにたたかい続けました。差別とたたかい続けたルースの生き方についてどう思いますか。 「探そう」 ・ルースは「勝てるはずがない」と言われた裁判を、なぜたたかったのだろう。 「ふみ出そう」 ・今もなお、社会にはたくさんの差別が存在しています。差別のないよりよい社会を築くためにはどんな思いや考えが大切でしょうか。 「活動」 ・「ふみ出そう」で書いた思いや考えの中で、これから心に留めておきたいことに印を付けてみましょう。</p>

【特別の教科 道徳】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	④体験的な学習を取り入れた工夫
方 法	○体験的な学習の扱い、教材名等・内容項目・体験的な学習活動の概要、体験的な活動を促す具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「演じて考えよう」のページを設け、直前の教材に関連した体験的な学習を促している。 <p>【教材名等・内容項目・体験的な学習活動の概要】（第3学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「みさきさんのえがお」 ○ 「C 公正、公平、社会正義」 ○ すぐに返事ができなかった「ぼく」の考えを演じたり、演技を見たりして考える活動 <p>【体験的な活動を促す具体例】（第3学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「えんじて考えよう」のページにイラストとともに発問等を示し、役割演技を促している。 <ul style="list-style-type: none"> ・えんじて考えましょう。 すぐにへんじができなかった「ぼく」は、なにを考えていたでしょう。 ・えんじたり、えんぎを見たりして気がついたことを、つたえ合いましょう。
教出	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう」のコーナーを設け、直前の教材に関連した体験的な学習を促すとともに、「たいけん」マークを目次に示している。 <p>【教材名等・内容項目・体験的な学習活動の概要】（第3学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「悪いのはわたしじゃない」 ○ 「A 正直、誠実」 ○ 自分が「わたし」だったら何と声をかけるか演じて考える活動 <p>【体験的な活動を促す具体例】（第3学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう」のコーナーに発問を示し、役割演技を促している。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分が「わたし」だったら、れなになんと声をかけますか。「わたし」の役になってえんじてみましょう。 ・えんじた人はどのようなことを思いましたか。見ていた人はどのようなことを感じましたか。発表してみましょう。
光村	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「演じて考えよう」のページを設け、直前の教材に関連した体験的な学習を促すとともに、該当ページを目次に示している。 <p>【教材名等・内容項目・体験的な学習活動の概要】（第3学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「教えてあげる？ 持ってあげる？」 ○ 「B 親切、思いやり」 ○ 荷物を持つように頼まれた「わたし」の気持ちを、演じたり演技を見たりして考える活動 <p>【体験的な活動を促す具体例】（第3学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「えんじて考えよう」のページにイラストとともに発問等を示し、役割演技を促

	<p>している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・②の場面の「わたし」とみきちちゃんを、えんじてみましょう。 ・えんじている人の表じょうやしぐさをよく見、言っていることをよく聞いて、人物の気持ちや思いを話し合しましょう。 ・えんじた人は、えんじていたときの気持ちをつたえましょう。
日文	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ぐっと深める」のページを設け、直前の教材に関連した体験的な学習を促すとともに、マークを目次及び該当ページに示している。 <p>【教材名等・内容項目・体験的な学習活動の概要】（第3学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「お母さんのせいきゅう書」 ○ 「C 家族愛、家庭生活の充実」 ○ お母さんが伝えなかったことはどんなことかを、お母さんを演じることを通して考える活動 <p>【体験的な活動を促す具体例】（第3学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ぐっと深める」のページにイラストや写真とともに発問等を示し、役割演技を促している。 <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんがだいすけにつたえたかったのは、どんなことだろう。お母さんになって、えんじてみよう。 ・お母さんは、どんなことを考えながら、だいすけへのせいきゅう書を書いているでしょう。 ・お母さんからのせいきゅう書を読んだだいすけの目が、なみだでいっぱいになったのはどうしてでしょう。 ・となりどうしやグループで話し合しましょう。
光文	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「みんなでやってみよう！」のコラムを設け、実際の問題場面を想定した体験的な学習を促す教材を掲載するとともに、マークを目次及び該当ページに示している。 <p>【教材名等・内容項目・体験的な学習活動の概要】（第3学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ことばのキャッチボール（ナイスボールをなげよう）」 ○ 「B 相互理解、寛容」 ○ 相手の気持ちも考えた言葉を伝えるには、どうしたらよいかをやってみて考える活動 <p>【体験的な活動を促す具体例】（第3学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「みんなでやってみよう！」のページにイラストとともに発問等を示し、役割演技を促している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ことばはキャッチボール。「ナイスボール」（相手の気持ちも考えた言葉）をなげるには、どうしたらよいか考えてみましょう。 ・1と2はどちらが「ナイスボール」でしょうか。 ・4を友だちどうしでやってみましょう。 ・「ことばのキャッチボール」をやってみて、どんなことに気づきましたか。
学研	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「心のパスポート」のページを設け、直前の教材に関連した体験的な学習を促すとともに、該当ページを目次に、マークを該当ページに示している。 <p>【教材名等・内容項目・体験的な学習活動の概要】（第3学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「貝がら」

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">○ 「B 友情、信頼」○ 友だちになるために大切なことを、「ぼく」と中山君の役を演じて考える活動【体験的な活動を促す具体例】(第3学年)○ 「心のパスポート」のページにイラストとともに発問等を示し、役割演技を促している。<ul style="list-style-type: none">・病気がなおった「ぼく」が学校で中山君に会ったときの場面を、想ぞうしてえんじましょう。・自分なら中山君に何を話すか、考えてみましょう。・考えたことを、話し合ひましょう。 |
|--|

【特別の教科 道徳】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑤分量や教材の数
方 法	○判型、ページ数、4つの視点ごとの教材数

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【判型】…全学年AB型</p> <p>【ページ数・4つの視点ごとの教材数】</p> <p>○第1学年 ページ数…144 (A10、B9、C9、D6)</p> <p>○第2学年 ページ数…160 (A11、B8、C10、D6)</p> <p>○第3学年 ページ数…176 (A8、B9、C11、D7)</p> <p>○第4学年 ページ数…178 (A9、B8、C11、D7)</p> <p>○第5学年 ページ数…186 (A9、B7、C12、D7)</p> <p>○第6学年 ページ数…194 (A8、B7、C12、D8)</p>
教出	<p>【判型】…全学年AB型</p> <p>【ページ数・4つの視点ごとの教材数】</p> <p>○第1学年 ページ数…152 (A10、B8、C12、D4)</p> <p>○第2学年 ページ数…152 (A11、B8、C12、D4)</p> <p>○第3学年 ページ数…160 (A9、B9、C12、D5)</p> <p>○第4学年 ページ数…160 (A9、B10、C10、D6)</p> <p>○第5学年 ページ数…176 (A10、B6、C13、D6)</p> <p>○第6学年 ページ数…176 (A8、B8、C12、D7)</p>
光村	<p>【判型】…全学年B5変型</p> <p>【ページ数・4つの視点ごとの教材数】</p> <p>○第1学年 ページ数…128 (A10、B8、C11、D5)</p> <p>○第2学年 ページ数…160 (A10、B8、C11、D5)</p> <p>○第3学年 ページ数…176 (A9、B9、C11、D5)</p> <p>○第4学年 ページ数…184 (A9、B9、C11、D5)</p>

	<p>○第5学年 ページ数…192 (A10、B9、C9、D6)</p> <p>○第6学年 ページ数…208 (A8、B9、C10、D7)</p>
日文	<p>【判型】…全学年AB型 (別冊…全学年AB型) 【ページ数・4つの視点ごとの教材数】</p> <p>○第1学年 ページ数…152 (A11、B8、C13、D5) 別冊ページ数…44</p> <p>○第2学年 ページ数…168 (A11、B9、C12、D6) 別冊ページ数…44</p> <p>○第3学年 ページ数…184 (A11、B10、C12、D5) 別冊ページ数…44</p> <p>○第4学年 ページ数…188 (A9、B10、C13、D6) 別冊ページ数…44</p> <p>○第5学年 ページ数…184 (A9、B10、C13、D6) 別冊ページ数…44</p> <p>○第6学年 ページ数…192 (A10、B9、C13、D6) 別冊ページ数…44</p>
光文	<p>【判型】…全学年AB型 【ページ数・4つの視点ごとの教材数】</p> <p>○第1学年 ページ数…156 (A11、B9、C13、D7)</p> <p>○第2学年 ページ数…172 (A10、B10、C13、D7)</p> <p>○第3学年 ページ数…180 (A10、B11、C12、D7)</p> <p>○第4学年 ページ数…184 (A8、B11、C14、D7)</p> <p>○第5学年 ページ数…188 (A9、B8、C14、D9)</p> <p>○第6学年 ページ数…188 (A9、B8、C15、D8)</p>
学研	<p>【判型】…全学年AB型 【ページ数・4つの視点ごとの教材数】</p> <p>○第1学年 ページ数…140 (A11、B8、C9、D6)</p> <p>○第2学年 ページ数…148 (A12、B8、C9、D6)</p>

- | |
|----------------------------------|
| ○第3学年
ページ数…156 (A9、B9、C11、D6) |
| ○第4学年
ページ数…164 (A9、B9、C11、D6) |
| ○第5学年
ページ数…160 (A9、B8、C10、D8) |
| ○第6学年
ページ数…168 (A9、B8、C11、D7) |

【特別の教科 道徳】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑥現代的な課題等を踏まえた内容の示し方
方 法	○いじめの問題の扱いと教材等の例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【いじめ問題の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした2つの教材等と扉ページの構成でユニット化した『いじめ』について、「考えよう」を設けている。 ○ いじめの問題を扱う教材のまとまりには、目次に色付けし、『いじめ』について、「考えよう」の扉ページを設けている。 <p>【教材例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第5学年 <ul style="list-style-type: none"> ・教材名「どうすればいいんだ」 内容項目「C 公正、公平、社会正義」 公正、公平な態度で行動するために大切なことについて考えさせる教材 ・「子どもの権利条約」(コラム) ・教材名「心のレシーブ」 内容項目「B 友情、信頼」 チームやグループで活動するときに大切なことについて考えさせる教材
教出	<p>【いじめ問題の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした2つの教材とコラムの構成でユニット化した「いじめをなくす」を設けている。 ○ いじめの問題を扱う教材のまとまりには、マークを目次及び該当ページに示し、目次と該当ページに色付けしている。 <p>【教材例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第5学年 <ul style="list-style-type: none"> ・教材名「言葉のおくりもの」 内容項目「B 友情、信頼」 みんなが力を合わせていけるようにするためには、どのようなことが大切かを考えさせる教材 ・教材名「SNSいじめ」 内容項目「A 善悪の判断、自律、自由と責任」 いじめの相談について考えさせる教材 ・「ひとりでかかえこまないで！」(コラム)
光村	<p>【いじめの問題の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした2つの教材とコラムの構成でユニット化した「いじめを許さない心」を設けている。 ○ いじめの問題を扱う教材のまとまりには、マークを目次及び該当ページに示し、目次と該当ページに色付けしている。 <p>【教材例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第5学年 <ul style="list-style-type: none"> ・教材名「みんな、おかしいよ！」 内容項目「B 相互理解、寛容」

	<p>相手と理解し合うためにはどんなことが大切かを考えさせる教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材名「ドッジボール対決」 内容項目「B 友情、信頼」 互いに高め合う友情とはどんなものかについて考えさせる教材 ・「おたがいを大切にしよう」(コラム)
日文	<p>【いじめ問題の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした複数の教材とコラムの構成でユニット化した「人との関わり②」を設けている。 ○ いじめの問題を扱う教材のまとまりには、「人との関わり (いじめをなくすために)」マークを使い目次に示し、目次に色付けしている。 <p>【教材例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第5学年 <ul style="list-style-type: none"> ・教材名「真由、班長になる」 内容項目「C よりよい学校生活、集団生活の充実」 みんなが気持ちよく集団生活をするために大切にしたい心構えについて考えさせる教材 ・教材名「名前のない手紙」 内容項目「C 公正、公平、社会正義」 集団の中で正義を実現するにはどんなことが大切かについて考えさせる教材 ・「いじめは止められる！」(コラム) ・教材名「折れたタワー」 内容項目「B 相互理解、寛容」 相手が失敗したときに広い心で許すことの大切さについて考えさせる教材
光文	<p>【いじめ問題の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした2つの教材と扉ページの構成でユニット化した「いじめを生まない心」を設けている。 ○ いじめの問題を扱う教材のまとまりには、「いじめを生まない心」マークを目次及び扉ページに示し、目次と該当ページに色付けしている。 <p>【教材例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第5学年 <ul style="list-style-type: none"> ・「クラスの雰囲気、これでいいの？」(扉のページ) ・教材名「ドッジボールを百倍楽しくする方法」 内容項目「B 友情、信頼」 「よい友だち」とは、どのような友だちかを考えさせる教材 ・教材名「光輝の告白」 内容項目「C 公正、公平、社会正義」 いじめにつなげないために、どんなことが大切かについて考えさせる教材
学研	<p>【いじめ問題の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした複数の内容項目の教材を特設ページとともに配置している。 ○ いじめの問題を扱う教材には、「いじめ防止」マークを使い、目次と該当ページに示している。 <p>【教材例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第5学年

	<ul style="list-style-type: none">・教材名「すれちがい」 内容項目「B 相互理解、寛容」 互いの心がすれ違わないようにするためには、どのような思いが大切かについて考えさせる教材・教材名「いじめをなくすために」 内容項目「C 公正、公平、社会正義」 いじめられている人を見かけたとき、どのように考えどのようにしたいかを考えさせる教材・「自分だったらどう思うか、三つの立場で考えてみよう」(特設ページ)・教材名「心をこめて一秒の言葉」 内容項目「B 礼儀」 心のこもった接し方について考えさせる教材
--	---

【特別の教科 道徳】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑦巻頭、巻末等の取扱いの工夫
方 法	○巻頭、巻末等の示し方

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【巻頭等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前に、詩を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年の目次には、学習するまとまりを色付けするとともに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、「なにを学ぶのかな？」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「どんな学びをするのかな？」を見開き2ページで示している。 ○ 第2学年以上は、「ちょっと話し合ってみよう！」を1ページで示している。 ○ 低学年は、「コンピュータで学びを広げよう」中・高学年は、「デジタルコンテンツで学びを広げよう」を1ページで示している。 <p>【巻末等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「学習の記録」を見開き2ページで設けている。 ○ 各学年、内容項目別教材一覧表を4つの視点別で示し、関連するテーマや他教科等との関連等を記載している。 ○ 各学年、「考えるためのツール」を示している。第4学年以上に「心情円」を設けている。
教出	<p>【巻頭等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、学習するまとまりを色付けするとともに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、「道徳で学習すること」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「道徳ではこんな学び方をするよ」を見開き2ページで示している。 ○ 第3学年以上は、「道徳の学習をもっと広げよう」を1ページで示している。 ○ 第3学年以上は、「タブレットを学習に生かそう」を1ページで示している。 <p>【巻末等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「学習をふり返ろう」を3ページ、「1年間の学習を振り返ろう」を1ページで設けている。 ○ 各学年、教材に合わせて活用する「資料」を掲載している。 ○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、他の教科・領域・SDGsとの関連を記載している。
光村	<p>【巻頭等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前に、詩を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年の目次には、学習するまとまりを色付けするとともに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、「道徳が始まるよ」を見開き2ページで示している。 ○ 第2学年以上に、「みんなで気持ちをよく話し合うためのこつ」を見開き2ページで示している。 ○ 第2学年以上に、「道徳みちあんない」を見開き2ページで示している。 <p>【巻末等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年「学びの記録」を示している。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3学年以上に、「学びの工具箱」を見開き2ページで示している。 ○ 第3学年以上に、日本の伝統文化等について2ページで掲載している。 ○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、現代的な課題等との関わり、他教科・領域との関わりを記載している。
日文	<p>【巻頭等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、学習するまとまりを色付けするとともに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、「道徳のとびら」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「道徳の学び方」を見開き2ページで示している。 ○ 別冊「道徳ノート」の目次には、各学年、4つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材について、教材名を見開き2ページで示している。 ○ 別冊「道徳ノート」には、道徳ノートの使い方等を、目次の下に、見開き2ページで示している。 <p>【巻末等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「見つけた！ここにも道徳」を1ページで示している。 ○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、他教科等との関連を記載している。 ○ 各学年、別冊「道徳ノート」に、教科書の巻末の「見つけた！ここにも道徳」を見て、今までの道徳の学習とのつながりを考えて書くページを、1ページ設けている。
光文	<p>【巻頭等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、学習するまとまりを色付けするとともに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、「ゆたかな心」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「道徳の時間は、こんな時間です」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「いろいろなやり方で考えてみよう」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「話し合って考えてみよう」を1ページで示している。 ○ 「まとめよう・ふりかえろう」を1ページで示している。 <p>【巻末等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、現代的課題、他教科との関連性のある内容項目、他教科との関連等を記載している。 ○ 各学年、「ことばのたからもの」を見開き2ページで記載している。 ○ 各学年、折り込みで、「学びの足あと」を設けている。
学研	<p>【巻頭等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前に、詩を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年、「つながる私 広がる私」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年の目次には、学習するまとまりを色付けするとともに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、4つの視点ごとに、教材名等を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「道徳の学習が始まるよ」を見開き2ページで示している。 <p>【巻末等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示している。 ○ 各学年、「つなげよう 広げよう」を1ページで設けている。

【特別の教科 道徳】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑧教材の内容を理解させる工夫
方 法	○マーク・キャラクター等の示し方と活用の具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【マーク・キャラクター等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「つながる・広がる」のマークを設定している。 ○ 中心的な発問をマークで示している。 ○ 「安心・安全」「情報モラル」「『いじめ』について」「『いのち』について」「『じぶん』について」のマークを設定している。 ○ 鉛筆のマークを設定している。 ○ 低学年は「コンピュータで学びを広げよう」、中・高学年は「デジタルコンテンツで学びを広げよう」を設定し、二次元コードを示している。 <p>【活用の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の上に、該当する4つの視点を示している。 ○ 他教科等と関連付けた学習を取り入れていることを示している。 ○ 道徳的価値に迫る中心的な発問をマークで示している。 ○ 現代的な課題に取り組むユニットであることを示している。 ○ 自分の考えを書き込む欄を示している。 ○ 教材冒頭や「つながる・広がる」等に、教材に関する朗読やスライドショー、デジタルノート等のデジタルコンテンツにリンクする二次元コードを示している。
教出	<p>【マーク・キャラクター等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「特に大切にできるテーマ」「問題や課題を解決する力を養う教材」「体験しながら考える教材」のマークを設定している。 ○ 中心的な発問をマークで示している。 ○ 「考えよう」「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」のマークを設定している。 ○ 「問題を見つける」「解決方法を考える①」「解決方法を考える②」「考えたことを生かす」のマークを設定している。 ○ キャラクター「マナビィ」を設定している。 ○ 「まナビリンク」のマークを設定し、二次元コードを示している。 <p>【活用の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主題の上に、該当する4つの視点を示している。 ○ 「特に大切にできるテーマ」は、「ユニット名」、「問題や課題を解決する力を養う教材」は「解決」、「体験しながら考える教材」は「たいけん」のマークを用いて、目次に示している。 ○ ねらいとする道徳的価値に関わる中心的な発問をマークで示している。 ○ 学習の手引きとして示している。 ○ 問題解決的な学習の手引きとして示している。 ○ 教材の冒頭や学習の手引きで、問い掛けを示している。 ○ 教材冒頭や教材の終わり等にあらすじや登場人物紹介、参考図書等が掲載されているWebサイトにリンクする二次元コードを示している。

<p>光村</p>	<p>【マーク・キャラクター等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「話とコラムをあわせて学習するまとめ」のマークを設定している。 ○ 中心的な発問をマークで示している。 ○ 第2学年以上に、教材冒頭に、内容項目の扉をマークで示している。 ○ 「コラム」「心を通わそう」「『考える』準備たいそう」をマークで示している。 ○ 「考えよう・話し合おう」、第2学年以上に「つなげよう」のマークを設定している。 ○ キャラクター「こころん」「きらりん」、第2学年以上に「もやもやん」を設定している。 ○ 「家の人といっしょに考えてほしいこと」、第2学年以上に「SDGs」「国・社・理」等のマークを示している。 ○ 「学習の助けとなる資料」として、二次元コードを示している。 <p>【活用の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主題名の右上に、該当する4つの視点を示している。 ○ ユニット名とともに色付けをして、目次とユニットの冒頭に示している。 ○ 特に考えさせたい中心的な発問をマークで示している。 ○ 各内容項目を扉になぞらえ、各教材の冒頭に言葉を添えて示している。 ○ 現代的な課題について考えることができる内容やソーシャルスキルトレーニング等を示している。 ○ 学びのめあてや他教科等との関連等を示している。 ○ 児童の生活や学びをつなげたり考えたことを問い直したりする問いかけ等を示している。 ○ 持続可能な開発目標との関わり、他教科や特別活動などとの関わり等を示している。 ○ 教材冒頭やコラム等に、教材に関する朗読や動画、写真等のデジタルコンテンツにリンクする二次元コードを示している。
<p>日文</p>	<p>【マーク・キャラクター等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「ぐっと深める」をマークで示している。 ○ キャラクター「ココロウ」を設定している。 ○ キャラクター「あおい」「そうた」「ほのか」「えいと」を設定している。 ○ 「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」のマークを設定している。 ○ 「ふろく」をマークで示している。 ○ 「心のベンチ」のマークを設定している。 ○ 第3学年以上には、「SDGsで考えよう」のマークを設定している。 ○ 「二次元コード」のマークを設定している。 <p>【活用の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主題名の上に、該当する4つの視点を示している。 ○ 目次の教材名の下と該当ページに「問題解決的な学習」や「体験的な学習」等を示している。 ○ 教材冒頭に、教材に入り込むきっかけとなる発問を示している。 ○ 教材の終わりに、「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」の発問とともに示している。 ○ 教材の終わりに、ねらいに迫る発問等を示している。 ○ 補充教材を「ふろく」として示している。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳的価値について考えを広げ深めるためのコラムを、「心のベンチ」として示している。 ○ SDGsの視点で考えることを示している。 ○ 関連する動画や画像等の資料にリンクする「二次元コード」のマークを示している。
光文	<p>【マーク・キャラクター等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点と、各学年で特に考えたいことをマークで示している。 ○ キャラクター「みらいさん」「ゆたかさん」「ドーミン」を設定している。 ○ 「いじめを生まない心」「命をかがやかせる」等の重点主題のマークを設定している。 ○ 「まとめよう」「ひろげよう」「かんがえよう」のマークを設定している。 ○ 「コラム」のマークを設定している。 ○ 「ことばのたからもの」のマークを設定している。 ○ 「学びの足あと」のマークを設定している。 ○ 各学年の目次に、Web上で見ることができる学習に役立つ情報をマークで示している。 <p>【活用の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主題名の上に該当する4つの視点や各学年で特に考えたいことを示している。 ○ 気づきや考えるためのポイントや多様な感じ方・考え方等を示している。 ○ 現代的な課題や学年独自のテーマについて考えることを示している。 ○ 導入・展開・発展の発問を示している。 ○ 「お話とつなげて、考えを広げたり、深めたりしよう。」「みんなでやってみよう!」「情報モラル」「へこんでも立ち直る」「SDGs」を示している。 ○ 「みんなに知ってほしい、すてきな言葉」を示している。 ○ 授業の記録を書く欄を示している。 ○ 教材理解をサポートする写真や動画、Webサイトにつながる二次元コードを目次や教材名の下に示している。
学研	<p>【マーク・キャラクター等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「いのち」「みんなで」「みらいへ」をマークで示している。 ○ ハート、クエスチョンマーク、エクスクラメーションマークを設定している。 ○ キャラクター「明日香」「未来」を設定している。 ○ 「心のパスポート」「深めよう」のマークを設定している。 ○ 「考えよう」のマークを設定している。 ○ 鉛筆のマークを設定している。 ○ 現代的な課題のマークを設定している。 ○ 情報モラルのマークを設定している。 ○ Webにつながるマークを設定し、二次元コードを示している。 <p>【活用の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の上に、該当する4つの視点を示している。 ○ 内容項目が異なる2教材を連続して学ぶユニット教材を示している。 ○ 考えるきっかけを示している。 ○ 目次とともに、全学年の教材の登場人物として示している。 ○ 多面的・多角的に考える特設ページを示している。 ○ 各教材の最後に、発問を示している。 ○ 自分の気づきや思いを書き込む欄を示している。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">○ 教材名の下に、現代的課題へつなげて考えることを示している。○ 目次と教材ページ下に、情報モラルを扱った教材であることを示している。○ Web 上で写真を見たり音声を聞いたりできる教材をマークで示すとともに、巻頭に二次元コードを示している。 |
|--|---|

【特別の教科 道徳】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑨考えを伝え合う活動の工夫
方 法	○話し合いを促す示し方と具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【話し合いを促す示し方】</p> <p>○ 巻頭「どんな学びをするのかな？」の「考える」に、話し合いの例等をイラストとともに示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例（第5学年） 自分の考えを話しましょう。 友達の考えをよく聞きましょう。 わたしは、こう考えたよ。 なるほど、その考えもすてきだね。 みんなの考えを聞いてみたら、わたしの考えが……。 <p>○ 巻頭「ちょっと話し合ってみよう！」に、児童がミニ教材を用いて話し合う様子をイラストとともに示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例（第5学年） お話を読んで、考えたことを話し合ってみましょう。 わたしとはちがうけど、その考えわかるなあ。 もし○○だったら……。 <p>○ 教材の終わりの「つながる∞広がる」の中に、話し合う活動を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例（第5学年） 「どうすればいいんだ」… このお話の「ぼく」「ぼくら」に伝えたいことはありますか。話し合ってみましょう。
教出	<p>【話し合いを促す示し方】</p> <p>○ 巻頭「道徳ではこんな学び方をするよ」の中で話し合いを促している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例（第5学年） 「話し合って考えよう」 グループやクラスで話し合って、自分の考えと同じところやちがうところ、友達の意見を聞いて気づいたことなどをもとに、自分の考えを見直してみよう。 <p>○ 巻頭「道徳の学習をもっと広げよう」の中でデジタル機器を活用した言語活動例を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例（第5学年） タブレットを学習に生かそう グループで意見を出し合う <p>○ 教材の終わりの「学びの手引き」の「考えよう」「深めよう」「つなげよう」の中に、話し合いを促す発問を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例（第5学年） 「稲むらの火」… 自分が五兵衛だったら、どのような行動をとったと思いますか。みんなで話し合いましょう。

<p>光村</p>	<p>【話し合いを促す示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」の中に、話し合いのポイントや例等をイラストに示すとともに、「やってみよう」を設けている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例（第5学年） <p>「友達と自分の考えを比べながら、話し合おう。」</p> <p>ぼくは、□□だと思ったよ。</p> <p>□さんの考えを聞いて、△△という見方に気づいたよ。</p> <p>□さんと、わたしの考えは、○○が同じだね。</p> <p>「『みんなで気持ちよく話し合うためのこつ』を意識して、話し合ってみましょう。」</p> ○ 「考えるヒント」のページに、話し合いのポイントを示したり、話し合いを促したりしている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例（第5学年） <p>「相手の考えをより深く理解したいときに、役に立つ言い方を集めました。話し合いで、使ってみましょう。」</p> ○ 「『考える』じゅんぴたいそう」のページで、話し合いを促している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例（第5学年） <p>「ふだん、あたりまえと思っていることに立ち止まって、『なんでだろう。』『どうしてかな。』と考えて、話し合ってみましょう。」</p> ○ 教材の終わりの「考えよう・話し合おう」「つなげよう」の中で、話し合いを促している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例（第5学年） <p>「だれもが幸せになれる社会を」… だれもが幸せになれる社会とは、どのようなものなのか、また、そのような社会を実現するためには、どんなことが必要なのか、話し合みましょう。</p>
<p>日文</p>	<p>【話し合いを促す示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「道徳の学び方」の「考える・深める」の中に、話し合いの具体的なポイントや状況等を二次元コードや写真とともに示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例（第5学年） <p>「気づいたことを友達と話し合って、自分の見方を広げ、考えを深めよう。」</p> ○ 「ぐっと深める」の中に、話し合いを促す発問を写真やキャラクターとともに示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例（第5学年） <p>「ガリユーのいう『ほんとうの自由』とは、どのようなものだろう。話し合いをおして考えてみよう。」</p> ○ 教材の終わりの「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」の中に、話し合いを促す発問を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例（第5学年） <p>「これって不公平？」… ①～④それぞれの場面について、「公平」か「不公平」かを考え、その理由について話し合おう。</p> ○ 別冊「道徳ノート」の中に、友だちの意見や話し合いの内容を記述する欄を設けている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例（第5学年）

	<p>「道徳ノートについて」 道徳の時間に、よく考え、よく話し合い、自分の思ったことや考えたことを記録するためのノートです。</p>
光文	<p>【話し合いを促す示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「道徳の時間は、こんな時間です」の「考えよう」の中に、話し合いの仕方やポイントをイラストとともに示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例（第5学年） 「話し合って考えてみよう」 いろいろな人の考えを聞いて話し合い、考えを広げたり、深めたりしましょう。 ○ 巻頭「話し合って考えてみよう」では、話し合う活動をイラストで提示し、話し合いのポイントや対話ツールを示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例（第5学年） 「言葉のカード（対話ツール）の中から言葉を選んで話してみよう。」 こんないいことがあるよ こんなときに使おう 言葉のカード（対話ツール）にはこんなものがあるよ ○ 教材の終わりの「ひろげよう」に、教材における話し合いを促す発問を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例（第5学年） 「明日へ向かって」… 災害やボランティアの実態について調べ、自分たちにどのようなボランティアができるか話し合ってみよう。
学研	<p>【話し合いを促す示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「道徳の学習が始まるよ」の「考えよう」に、話し合いの仕方やポイントをイラストとともに示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例（第5学年） 「話し合おう」 いろいろなものの見方、感じ方、考え方にふれよう。 ○ 「心のパスポート」に、話し合いを促す発問を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例（第5学年） 「これからの自分について考えよう」 あなたの考える「自由」はどんなものですか。話し合ってみましょう。 自分の考え 友達の場合 ○ 「深めよう」の「さがそう」に、話し合いのポイント等を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例（第5学年） 「もっとかがやく自分になるには」 グループやクラスで、考えたことを話し合ってみましょう。

【特別の教科 道徳】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑩考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫
方 法	○考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方、まとめや振り返りの数等と具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(第4学年)</p> <p>【考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末に、学期末に心に残った題名と内容を記述する欄を設けている。 ○ 巻末に、学期末に、道徳で学んだことを振り返って記入する欄を設けている。 <p>【まとめや振り返りの数等と具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習の記ろく」 「心にのこったお話について書きましょう。」(記入欄6か所) 学期の終わりや、長い休みの前に書いてみよう。 「どうとくの学習をふり返って、感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしたいことなどを書きましょう。」(記入欄3か所)
教出	<p>(第4学年)</p> <p>【考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材の終わりに自己評価をマークや言葉で書く欄を設けている。 ○ 巻末に、学習した教材で心に残ったことなどを記述するページを設けている。 ○ 巻末に、年度末に、道徳で学んだことを振り返って記入する欄を設けている。 <p>【まとめや振り返りの数等と具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「自己評価欄」(35時間分) しっかり考えられた 新しく気づいたことがあった 大切にしたいことがわかった ○ 「学習をふり返ろう」(記入欄6か所) 「どんな教材が心に残ったかな。」 心に残った教材とその理由 ○ 「一年間の学習をふり返ろう」(記入欄2か所) 「どんなことを学習したかな。」 一年間の道徳の学習をとおして、感じたことや考えたことを書きましょう。 これからの生活に生かしていきたいことを書きましょう。
光村	<p>(第4学年)</p> <p>【考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末折り込みに、学習を振り返って自己評価をシールで貼る欄を設けている。 <p>【まとめや振り返りの数等と具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びの記録」(35時間分) 「道徳の授業でできたことを、記録しましょう。」 「次の三つのシールの中から、自分ができたと思うものを、はりましょう。」 たくさん考えることができた。 友だちの話をよく聞くことができた。 もっと考えたい、やってみみたいことが見つかった。

<p>日文</p>	<p>(第4学年)</p> <p>【考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方】</p> <p>○ 別冊「道徳ノート」に、学習を振り返って自己評価をマークで描く欄を設けている。また、心に残った話と理由を記入する欄を設けている。</p> <p>【まとめや振り返りの数等と具体例】</p> <p>○ 「道徳ノート」(39時間分)</p> <p>「今日の学習はどうでしたか。◎・○・△をつけましょう。」</p> <p>しっかり考えた 友達の意見から新しく気づいたことがあった これからたいせつにしたいことがわかった</p> <p>○ 「ここまでの学習をふり返ってみよう」(3回分)</p> <p>「心に残ったお話はありましたか。その理由も書きましょう。」</p> <p>心に残ったお話をすることをおうちの人に教えてあげよう。</p>
<p>光文</p>	<p>(第4学年)</p> <p>【考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方】</p> <p>○ 巻末に、学習した日付、教材番号を記入する欄を設けている。</p> <p>○ 巻末に、学期末や年度末に、道徳で学んだことをまとめて記入する欄を設けている。</p> <p>【まとめや振り返りの数等と具体例】</p> <p>○ 「学びの足あと」(36時間分)</p> <p>「授業の記録をつけましょう。」</p> <p>授業を受けた後の気持ちを矢印で表しましょう。 そのような矢印にしたわけや、分かったこと、感じたこと、やってみたくと思ったことを書きましょう。 どうしようかなと思っていることを書いてもいいよ。</p> <p>○ 「学びの足あと」(3回分)</p> <p>「道徳で学んだことを、まとめましょう。」</p>
<p>学研</p>	<p>(第4学年)</p> <p>【考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方】</p> <p>○ 巻末に、道徳の学習を通して、心に残ったお話や出来事、心に残った言葉、人に伝えたい言葉などを記入し、1年間の学びを振り返るページを設けている。</p> <p>【まとめや振り返りの数等と具体例】</p> <p>○ 「つなげよう 広げよう」(記入欄3箇所)</p> <p>「道徳の学習で心に残ったお話や出来事を書こう。」</p> <p>「心に残った言葉、人に伝えたい言葉を書こう。」</p> <p>心に残った友だちや先生の言葉 友だちや家の人に伝えたい言葉 「五年生になる自分へメッセージをおくろう。」</p>